

■ 空の日イベントの開催について

北海道開発局 港湾空港部 空港・防災課

1. 「空の日」とは

我が国の航空は、昭和 27 年(1952 年)の民間航空再開以来半世紀の間に目覚ましい発展を遂げ、今や国民生活にとって不可欠の交通機関となっております。

民間航空再開 40 周年にあたる平成 4 年(1992 年)、より多くの方に航空に対するご理解と関心を高めていただくとの趣旨により、運輸省(現在の国土交通省)航空局が 9 月 20 日を「空の日」、9 月 20 日～ 30 日を「空の旬間」と定めました。

毎年この時期に全国の空港でさまざまな行事が行われており、道内各空港(国管理空港、地方管理空港、特定地方管理空港、共用空港)においてもイベントが開催されております。

2. 今年のイベント開催状況

道内国管理空港においては、平成 29 年 7 月 30 日(日)の稚内空港を皮切りに、9 月 9 日(土)函館空港、9 月 9～10 日(日)新千歳空港、9 月 24 日(日)釧路空港で開催されました。

イベントでは、普段入ることができない滑走路を歩く体験や、エプロン(駐機場)において航空機及び空港内で活躍する地上支援車両、消防車等を間近で見ることができました。また、各空港の歴史や事業を紹介したパネル展示、航空会社の子供用制服試着会、フライトシミュレーター体験、野外ステージ、紙飛行機作り体験、空港内のバスツアー、チアリーダーなど、多種多様な催しが開催されました。

各空港それぞれ趣向を凝らした内容になっており、空港の歴史や役割等を知っていただく良い機会となっております。



飛行機の機体見学会(函館空港)



早朝ランウェイ(滑走路)ウォーク(新千歳空港)



消防車、ヘリコプターの展示(釧路空港)



空港の歴史や事業を紹介するパネル展示(稚内空港)

今年のイベントもたくさんの方々にご来場、ご参加いただきました。より多くの方々が空港について興味を持つきっかけになっていただければ幸いです。

また、御多忙の中、イベントに御協力いただいた皆様にも、改めて感謝申し上げます。